

湖二っ子だより

合言葉
自分が好き
友だちが好き
学校が好き

令和元年 12月2日

湖二っ子 三つの『あ』・・・「あいさつ」・「あんぜん」・「ありがとう」の実践

今年も残すところあと1ヶ月となりました。11月28日のマラソン大会には、寒い日にもかかわらず、大勢の皆様が熱い声援をいただきありがとうございました。子どもたちは一生懸命に走りました。自主的に運動場を走ったり、何度かのコース練習で、「タイムを縮める」ことや「歩かずに走る」ことなどを目標にがんばってきました。最高の走りができて喜んでいる子もいれば、思うような走りができなかつたり、タイムを縮めることができなかつたりして涙がこぼれてしまう子もありましたが、その満足感あるいは悔しさが、次へのバネになるのだと思います。

あるお父さんが「悔しくて涙をこぼしている我が子がすごいなあと思います。自分がそういう気持ちを抱いたのはもっと大きくなってからだった気がします。」とおっしゃっておられました。悔し涙を流す我が子をすごいと思うお父さんがすごい、と私は思いました。子どもの気持ちを理解し、受け止めていただけることに感謝します。

聞き方のいろいろ

おえういあ	き
..	ま
おえういあ	か
わがなういあ	た
りがおすいあ	あ
までききながら	い
き	う
	え
	お
	み
	て

各教室に「ききかた あいうえお」のパネルが貼ってあります。なかなか難しいです。私はこんなふうに子どもの話を聞いているかなあ？と振り返ると、できてないなあと反省します。

『児童心理』という雑誌に載っていた記事の一部を紹介します。

子どもが「日曜日にA君と遊ぶんだ。」と言ったとします。どう答えますか？

- ①「いいね。でも宿題だけはちゃんとするんだよ。」
- ②「だめだよ。宿題がたまっているでしょ。」
- ③「いいね。そしたらBさんも誘うといいね。」

どれも日常普通に使われている聞き方・応答である。常に子どもの問いかけを評価・許可し、その後の行動について提案・管理する。その結果、子どもたちは気持ちを語らなくなったり、自分のすることにいちいち許可を求めてきたりするようになってはいないだろうか。②を口癖にする人は多い。③はあえて練習しないとできない応答である。－後略－

耳の痛い話です。知らず知らずのうちに子どもの話を評価したり管理したりしてしまっています。大人も、子どもの話を傾聴するトレーニングが必要ですね。

12月行事予定

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 2日(月) ともだち集会
県下一斉清掃 | 17日(火) 個別懇談会(～20日)
13:30 集団下校 |
| 4日(水) 地区児童会・集金日 | 20日(金) 給食終了 |
| 9日(月) クラブ活動(3年クラブ見学) | 23日(月) 終業式・大掃除 |
| 10日(火) ポンぽんの会 | 26日(木) 給食費振替日 |
| 13日(金) PTA第4回地域委員会 | 29日(日) 年末年始休業(～1/3) |
| 16日(月) クラブ活動(最終)
5年 MIO サッカー教室 | |

